

【事実婚】別居している場合

**記入例**

## 生計同一関係に関する申立書

**1** 生計同一関係の開始日 ※①が障害年金受給権者である場合には記入 **事実婚の開始日等を記入**

( 昭和・平成 \_\_\_\_\_年\_\_\_\_\_月\_\_\_\_\_日・頃 )

**2** 別世帯になっている理由

※①と②は同居しているが別世帯となっている場合には記入

---

---

---

---

**3** 同居についての申立 (別居していることの理由)

※①と②の住民票上の住所が異なる場合には記入

別居している理由をご記入ください

---

---

---

---

**4** 経済的援助についての申立 ※①と②が別居の場合には記入

㊦ ①から②に対する経済的援助の有無 ( あり ・ なし )

㊧ 上記㊦で「あり」の場合にはその回数 ( 年・月 約 \_\_\_\_\_ 回程度)

㊨ 経済的援助の内容

月 円生活費として送金している等、経済的援助の内容をご記入ください

経済的援助は金銭に限定されません。日用品や食品の援助があれば、それについても記入してください。

---

---

---

---

**5 定期的な音信・訪問についての申立** ※①と②が別居の場合には記入

㊦ 音信の手段 ( 電話・メール )

㊧ 訪問回数 ( 年・月・週 約 \_\_\_\_\_ 回程度)

㊨ 音信・訪問の内容

月に 回会っている、週に 回電話で連絡している等具体的にご記入ください。

**6 生計同一関係にあることの申立**

平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

私は、下記②の者と、生計を同じくしております。

① 受給権者の住所、氏名

住所 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_ ㊩ ※本人自署の場合には押印省略可能

② 受給権者の配偶者または子の住所、氏名

住所 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_ (①との続柄: \_\_\_\_\_)

氏名 \_\_\_\_\_ (①との続柄: \_\_\_\_\_)

氏名 \_\_\_\_\_ (①との続柄: \_\_\_\_\_)

**7 第三者による証明欄**

平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

三親等内の親族以外に  
記入してもらいましょう

上記 ① ~ ⑥ の事実に相違ないことを証明します。

また、私は上記①及び②の者の民法上の三親等内の親族ではありません。

住所 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_ ㊩ ※本人自署の場合には押印省略可能

日本年金機構理事長 殿